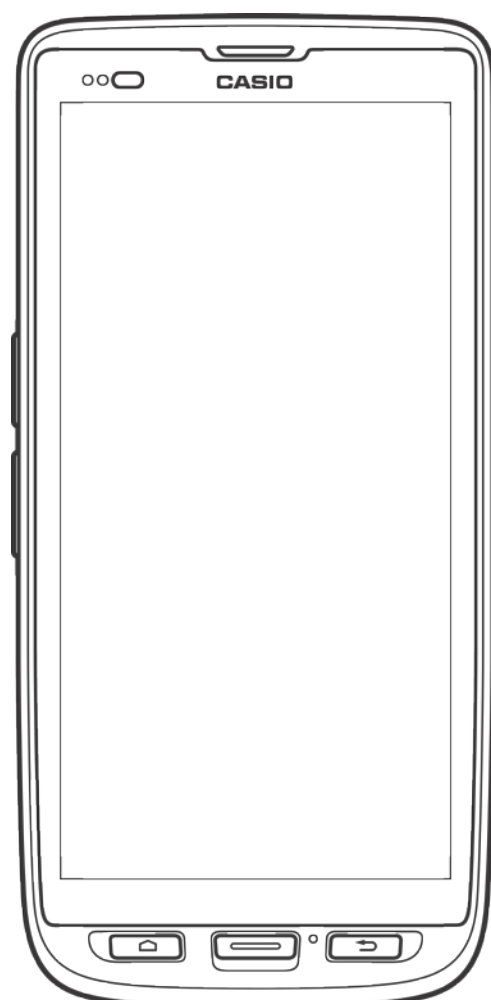


ET-L10 シリーズ

バーコードスキャナー 制御マニュアル

本書は、ET-L10 に搭載されているバーコード
スキャナーの制御について記載しています。



ご利用上の注意

- このソフトウェアおよびマニュアルの、一部または全部を無断で使用、複製することはできません。
- このソフトウェアおよびマニュアルは、本製品の使用許諾契約書のもとでのみ使用することができます。
- このソフトウェアおよびマニュアルを運用した結果の影響については、一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- このソフトウェアの仕様、およびマニュアルに記載されている事柄は、将来予告なしに変更することがあります。
- このマニュアルの著作権はカシオ計算機株式会社に帰属します。
- 本書中に含まれている画面表示は、実際の画面とは若干異なる場合があります。予めご了承ください。

© 2020 カシオ計算機株式会社

Android は Google LLC の登録商標です。

その他、本文中に記載されている会社名、および商品名は、各社の商標、または登録商標です。

目次

1. 概要	3
1.1 目的	3
2. バーコードスキャナー仕様	4
2.1 制御方法	4
2.2 基本機能	4
2.2.1 イルミネーション・エイマー	4
2.2.2 読取り結果通知	5
2.3 読取りバーコード	6
2.4 読取り条件	7
2.5 拡張機能	8
2.5.1 中心読みモード	8
3. Scan Setting制御	10
3.1 設定一覧	10
4. アプリケーション制御	17
4.1 インテント一覧	17
4.2 機能詳細	18
4.2.1 Scan Settingの起動	18
4.2.2 バーコードスキャナーのオープン/クローズ	18
4.2.3 バーコードスキャナー設定の初期化	18
4.2.4 通知LEDの制御	18
4.2.5 通知バイブレーターの制御	19
4.2.6 通知音の制御	19
4.2.7 読取りバーコードの制御	20
4.2.8 出力方式の制御	21
4.2.9 終端子(Terminator)の制御	22
4.2.10 トリガーキーの有効/無効制御	22
4.2.11 トリガーキーのタイムアウト制御	22
4.2.12 トリガーキーのソフトウェア制御	23
4.3 アプリケーション開発	24
4.3.1 アプリケーションに必要な権限	24
4.3.2 APIレベル	24
4.3.3 インテントフィルター	24
4.3.4 複数アプリからの制御	24
4.3.5 使用例	25
4.3.6 注意事項	25

はじめに

本書は、ET-L10 に搭載しているバーコードスキャナーの機能および使用方法について説明した資料です。

1. 概要

1.1 目的

ET-L10 に搭載しているバーコードスキャナーはバーコードの読取り機能や出力方式を制御する機能などを提供します。

本書ではそれらの機能およびアプリケーションから制御可能な機能を制御する方法を解説します。

2. バーコードスキャナー仕様

2.1 制御方法

ET-L10 に搭載されているバーコードスキャナーを制御するには 2 つの方法があります。

端末に搭載しているバーコードスキャナー設定ツール「Scan Setting」を使用する方法と、お客様がスキャナー設定変更するためのアプリケーションを開発する方法です。

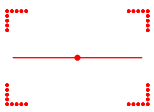
Scan Setting を使用する方法は「3 Scan Setting制御 (p. 10)」を、アプリケーションから制御する方法は「4 アプリケーション制御 (p. 17)」を参照してください。

バーコードスキャナー機能はカメラ機能と排他制御となっています。バーコードスキャナー機能を使用する場合はカメラ機能を終了させてください。

2.2 基本機能

2.2.1 イルミネーション・エイマー

バーコードスキャナーには、照明用のイルミネーション LED と、読取り位置を示すレーザーエイマーが搭載されています。バーコード読取り(スキャン)時は、イルミネーションとエイマーが交互に点滅します。

エイマー形状	説明
赤 Laser 	四方にバーコードスキャナーの画角を示す枠が表示され、中心に横棒と中心点が表示されます。 カメラの光軸とエイマーの光軸は平行でないため、カメラの中心とエイマーの中心点の位置は対象物との距離で変化します。

2.2.2 読取り結果通知

(1) 通知 LED

スキャン中や読取りが成功したときに通知 LED を点灯させます。以下のパターンを設定することができます。

通知デバイス	設定	スキャン中	読取り成功	読取り失敗
通知 LED	無効	なし	なし	なし
	有効(デフォルト)	赤点灯	青点灯	なし

(2) 通知音

読取りが成功したとき、もしくは失敗(読取り中断)したときにオーディオによる通知音を鳴らします。以下のパターンを設定することができます。

通知デバイス	設定	読取り成功	読取り失敗
オーディオ	成功時無効	なし	-
	成功時有効(デフォルト)	成功音	-
	失敗時無効(デフォルト)	-	なし
	失敗時有効	-	失敗音

(3) 通知バイブレーター

読み取りが成功したときにバイブレーターを振動させます。以下のパターンを設定することができます。

通知デバイス	設定	読取り成功	読取り失敗
バイブレーター	無効(デフォルト)	なし	なし
	有効	振動あり	なし

2.3 読取りバーコード

読取り可能なバーコードと設定可能な条件を以下に示します。

1D コード

コード	読取り桁数	チェック キャラクター	チェック キャラクター出力	その他の機能
EAN8/JAN8	8 (+2/5)	常に有効	有効/無効	2桁/5桁アドオン
EAN13/JAN13	13 (+2/5)	常に有効	有効/無効	2桁/5桁アドオン
UPC-A	12 (+2/5)	常に有効	有効/無効	付加キャラクター出力 2桁/5桁アドオン EAN13 拡張
UPC-E	6 (+2/5)	常に有効	有効/無効	付加キャラクター出力 2桁/5桁アドオン
Code39	1-48	有効/無効	有効/無効	スタート/ストップキャラクター出力 有無 Full ASCII 変換
Codabar (NW7)	2-60	有効/無効	有効/無効	スタート/ストップキャラクター出力 有無
ITF (Interleaved 2 of 5)	2-80	有効/無効	有効/無効	
Code93	1-80	常に有効	常に無効	
Code128	1-80	常に有効	常に無効	
GS1 128(EAN128)	1-80	常に有効	常に無効	
MSI	4-48	常に有効	有効/無効	
GS1 DataBar (RSS)	1-80 (※1)	常に有効	常に無効	GS1 DataBar-14 読取り有無 GS1 DataBar-Limited 読取り有無 GS1 DataBar-Expanded 読取り有無

(※1) GS1 DataBar-14 と GS1 DataBar Limited は読取り桁数 14 桁固定になります。

2D コード(Stacked コード)

コード	読取り桁数	チェック キャラクター	チェック キャラクター出力	その他の機能
PDF417	1-2750	常に有効	常に無効	
MicroPDF	1-2750	常に有効	常に無効	
Composite	1-300	常に有効	常に無効	Composite 対応 (EAN8/EAN13/UPC-A/UPC-E/ GS1 DataBar/EAN128)
GS1 DataBar (RSS) Stacked type (※1)	1-80 (※2)	常に有効	常に無効	GS1 DataBar-14/GS1 DataBar Expanded

(※1) Standard Omnidirectional タイプを含みます。

(※2) GS1 DataBar-14 Stacked type は読取り桁数 14 桁固定になります。

2D コード(Matrix コード)

コード	読取り桁数	チェック キャラク ター	チェック キャラク ター出力	その他の機能
Aztec	1-3832	常に有効	常に無効	
QR Code / Micro QR Code	1-7089	常に有効	常に無効	Model 2 のみ(※1)
Maxicode	1-150	常に有効	常に無効	
DataMatrix	1-3166	常に有効	常に無効	ECC000/050/080/100/140/200
Han Xin (Chinese Sensible Code)	1-6000	常に有効	常に無効	

(※1) Model 1 には対応していません。

Note!

読取り桁数はバーコードスキャナーで設定可能な桁数であり、実際に読取れるかはバーコードの印字状態(分解能、印字の濃さ・太さ、かすれ等)、および周囲の環境(明るさ、端末とバーコードの距離等)によって変わりますのでご注意ください。

2.4 読取り条件

読取り条件を設定することでバーコード読取り時間を短縮させることが可能です。

(1) 読取り有効バーコードの指定

読取りを有効にする、もしくは無効にするバーコードの種類を指定することができます。読取りたいバーコードのみを有効に設定することにより、読取り時間を短縮させることができます。

(2) 読取り桁数の指定

各バーコードに対して、読取りを許可する最小桁数と最大桁数を指定することができます。読取り桁数を使用するバーコードに合わせて設定することで、誤読率を低下させることができます。

最小桁数・最大桁数については、「2.3 読取りバーコード (p. 6)」の読取り桁数を参照してください。

(3) チェックキャラクター計算・チェックキャラクター出力の指定

一部のバーコードはチェックキャラクター計算の有効/無効を指定することができます。また、チェックキャラクターを、読み取った文字列に付加するかも指定することができます。チェックキャラクター計算を行うことで、誤読率を低下させることができます。

各バーコードのチェックキャラクター計算・出力の有効/無効設定については、「2.3 読取りバーコード (p. 6)」のチェックキャラクター、チェックキャラクター出力をご参照ください。

2.5 拡張機能

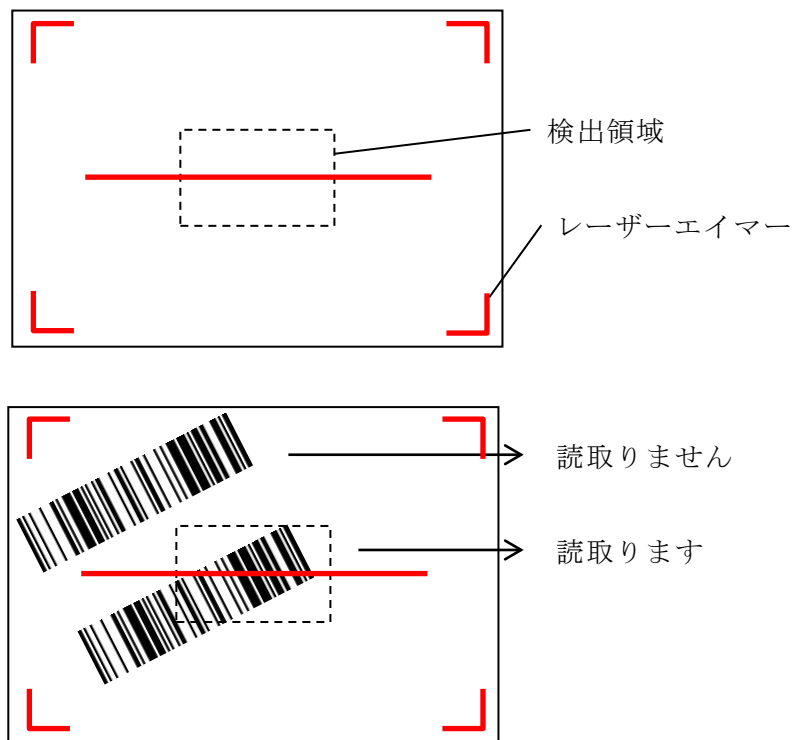
バーコード読取りの拡張機能として、下記の機能を用意しています。

2.5.1 中心読みモード

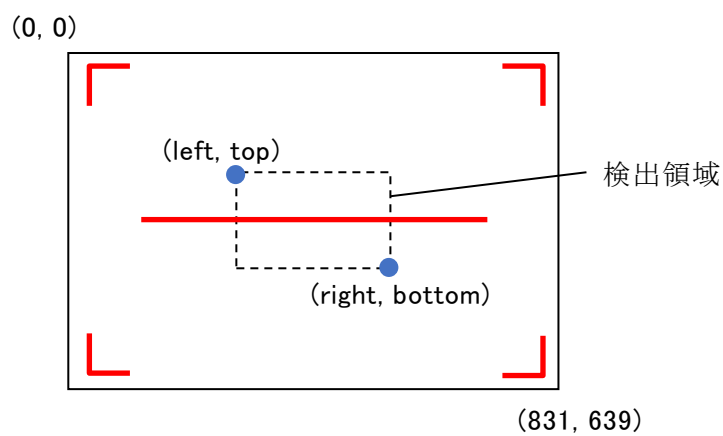
レーザーエイマーの中心にバーコード検出領域を限定する機能です。複数のバーコードがある状況で、中心にあるバーコードのみ読取りを行いたい際に有効です。

設定	説明
無効	中心読みモード無効(デフォルト)
有効	中心読みモード有効

中心読みモード有効時に読取られるバーコードは下図を参照してください。検出領域にバーコードの一部が含まれた場合、そのバーコードを読み取ります。



検出領域は任意の 2 点を指定することで設定することができます。お客様の運用に合わせて検出領域を設定してください。座標系は下図を参照してください。なお、レーザーエイマーの照射位置は端末とバーコードの距離や角度などで変化します。



3. Scan Setting 制御

Scan Setting はバーコードスキャナーの設定を変更するためのツールです。Web アプリケーションなどバーコードスキャナー制御のための専用アプリケーション開発をおこなわない場合に有効です。

3.1 設定一覧

名称	デフォルト値	機能 / 設定可能値
バーコードスキャナー	バーコードスキャナーをオープンする	バーコードスキャナーのオープン/クローズを切り替えます。 [バーコードスキャナーをオープンする], [バーコードスキャナーをクローズする]
通知		
成功時の通知音	成功時に通知音が鳴ります	読取り成功時の通知音を設定します。 [成功時に通知音が鳴ります], [成功時に通知音が鳴りません]
失敗時の通知音	失敗時に通知音が鳴りません	読取り失敗時の通知音を設定します。 [失敗時に通知音が鳴りません], [失敗時に通知音が鳴ります]
バイブレーター	成功時にバイブレーターが振動しません	読取り成功時のバイブレーターを設定します。 [成功時にバイブレーターが振動しません], [成功時にバイブレーターが振動します]
通知 LED	通知 LED が点灯します	通知 LED の動作を設定します。 [通知 LED が点灯します], [通知 LED が点灯しません]
バーコード設定		
詳細設定		
バージョン情報		

バーコード設定下

名称	デフォルト値	機能 / 設定可能値
全有効/全無効設定		
全有効/全無効	全てのバーコードを有効にします	読取り可能なバーコードを一括設定します。 [全てのバーコードを有効にします], [全てのバーコードを無効にします]
1D シンボル		
Codabar	有効	読取り可否を設定します。 [有効], [無効]
Code39	有効	読取り可否を設定します。 [有効], [無効]
Code93	有効	読取り可否を設定します。 [有効], [無効]
Code128	有効	読取り可否を設定します。 [有効], [無効]
EAN8/JAN8	有効	読取り可否を設定します。 [有効], [無効]

EAN13/JAN13	有効	読取り可否を設定します。 [有効], [無効]
GS1 128	有効	読取り可否を設定します。 [有効], [無効]
ITF(Interleaved 2 of 5)	有効	読取り可否を設定します。 [有効], [無効]
MSI	有効	読取り可否を設定します。 [有効], [無効]
GS1 DataBar	有効	読取り可否を設定します。 [有効], [無効]
GS1 DataBar Limited	有効	読取り可否を設定します。 [有効], [無効]
GS1 DataBar Expanded	有効	読取り可否を設定します。 [有効], [無効]
UPC-A	有効	読取り可否を設定します。 [有効], [無効]
UPC-E	有効	読取り可否を設定します。 [有効], [無効]
UPC-E1	有効	読取り可否を設定します。 [有効], [無効]
2D シンボル		
Micro PDF	有効	読取り可否を設定します。 [有効], [無効]
PDF417	有効	読取り可否を設定します。 [有効], [無効]
Aztec	有効	読取り可否を設定します。 [有効], [無効]
DataMatrix	有効	読取り可否を設定します。 [有効], [無効]
Han Xin	有効	読取り可否を設定します。 [有効], [無効]
Maxiode	有効	読取り可否を設定します。 [有効], [無効]
QR Code	有効	読取り可否を設定します。 [有効], [無効]
Composite	有効	読取り可否を設定します。 [有効], [無効]
プロパティ設定		

詳細設定下

名称	デフォルト値	機能 / 設定可能値
詳細設定		
出力方式	EditBox に出力	読取り結果の出力方式を設定します。 [EditBox に出力], [ブロードキャスト], [キーボード出力], [クリップボード出力]
修飾子(Suffix)	Enter	修飾子(Suffix)を設定します。 [なし], [Enter], [TAB], [LF]
文字コード	auto	文字コードを設定します。 [auto], [GB2312], [GBK], [GB18030], [UTF-8], [ISO-8859-1], [BIG5], [SJIS], [EUC-JP] 日本語マルチバイト文字を読取る場

		合は SJIS や EUC-JP を指定してください。
トリガーキータイムアウト(s)	10	トリガーキーのタイムアウトを設定します。 1-10 秒
中心読みモード設定	中心読みモード無効	中心読みモードを設定します。 [中心読みモード無効], [中心読みモード有効]
検出領域	Left: 386 Top: 290 Right: 446 Bottom: 350	中心読みモードの検出領域を設定します。 Left, Right: 0-831 Top, Bottom: 0-639
通知バーのアイコン	通知バーのアイコンを非表示	通知バーのアイコンを設定します。 [通知バーのアイコンを非表示], [通知バーのアイコンを表示]
ログ出力	無効	ログ出力の有効/無効を設定します。 [無効], [有効]
デフォルト設定に戻す	-	全ての設定をデフォルトに戻します。

プロパティ設定下

バーコード名称	プロパティ名	デフォルト値	機能 / 設定可能値
Aztec	Min Length	1	読取り最小桁数を設定します。 1-3832
	Max Length	3832	読取り最大桁数を設定します。 1-3832
Codabar	Check Digit Calculate	無効	チェックキャラクターの有無による読取り可否を設定します。 [無効], [有効]
	Output Check Digit Character	有効	チェックキャラクターの出力を設定します。 [無効], [有効]
	Output Start/Stop Character	有効	スタート/ストップキャラクターの出力有無を設定します。 [無効], [有効]
	Codabar Concatenate	無効	設定を変更しないでください。
	Min Length	2	読取り最小桁数を設定します。 2-60
	Max Length	60	読取り最大桁数を設定します。 2-60
Code39	Check Digit Calculate	無効	チェックキャラクターの有無による読取り可否を設定します。 [無効], [有効]
	Output Check Digit Character	無効	チェックキャラクターの出力を設定します。 [無効], [有効]
	Output Start/Stop Character	無効	スタート/ストップキャラクターの出力有無を設定します。 [無効], [有効]
	Append	無効	設定を変更しないでください。
	Full ASCII	無効	Full ASCII 変換有無を設定します。 [無効], [有効]
	Min Length	0	読取り最小桁数を設定します。 0-48
	Max Length	48	読取り最大桁数を設定します。 0-48
Code93	Min Length	0	読取り最小桁数を設定します。 0-80
	Max Length	80	読取り最大桁数を設定します。 0-80
Code128	Min Length	0	読取り最小桁数を設定します。 0-80
	Max Length	80	読取り最大桁数を設定します。 0-80
Composite	Composite UPC	無効	UPC/EAN Composite の読取り有無を設定します。 [無効], [有効]
	Min Length	1	読取り最小桁数を設定します。 1-300
	Max Length	300	読取り最大桁数を設定します。 1-300
DataMatrix	Min Length	1	読取り最小桁数を設定します。 1-3166
	Max Length	3166	読取り最大桁数を設定します。

			1-3166
EAN8	Output Check Digit Character	無効	チェックキャラクターの出力を設定します。 [無効], [有効]
	Addenda Separator	無効	バーコードデータとアドオン間のスペース出力有無を設定します。 [無効], [有効]
	2-Digit Addenda	無効	2桁アドオンの読取り有無を設定します。 [無効], [有効]
	5-Digit Addenda	無効	5桁アドオンの読取り有無を設定します。 [無効], [有効]
	Addenda Required	無効	アドオン有無による読取り可否を設定します。 [無効], [有効]
EAN13	Output Check Digit Character	有効	チェックキャラクターの出力を設定します。 [無効], [有効]
	Addenda Separator	無効	バーコードデータとアドオン間のスペース出力有無を設定します。 [無効], [有効]
	2-Digit Addenda	無効	2桁アドオンの読取り有無を設定します。 [無効], [有効]
	5-Digit Addenda	無効	5桁アドオンの読取り有無を設定します。 [無効], [有効]
	Addenda Required	無効	アドオン有無による読取り可否を設定します。 [無効], [有効]
GS1 128	Min Length	0	読取り最小桁数を設定します。 0-80
	Max Length	80	読取り最大桁数を設定します。 0-80
Han Xin	Min Length	1	読取り最小桁数を設定します。 1-6000
	Max Length	6000	読取り最大桁数を設定します。 1-6000
ITF (Interleaved 2 of 5)	Check Digit Calculate	無効	チェックキャラクターの有無による読取り可否を設定します。 [無効], [有効]
	Output Check Digit Character	無効	チェックキャラクターの出力を設定します。 [無効], [有効]
	Min Length	2	読取り最小桁数を設定します。 2-80
	Max Length	80	読取り最大桁数を設定します。 2-80
Maxiode	Min Length	1	読取り最小桁数を設定します。 1-150
	Max Length	150	読取り最大桁数を設定します。 1-150
Micro PDF	Min Length	1	読取り最小桁数を設定します。 1-2750

	Max Length	2750	読取り最大桁数を設定します。 1-2750
MSI	Output Check Digit Character	無効	チェックキャラクターの出力を設定します。 [無効], [有効]
	Min Length	4	読取り最小桁数を設定します。 4-48
	Max Length	48	読取り最大桁数を設定します。 4-48
PDF417	Min Length	1	読取り最小桁数を設定します。 1-2750
	Max Length	2750	読取り最大桁数を設定します。 1-2750
QR Code	Min Length	1	読取り最小桁数を設定します。 1-7089
	Max Length	7089	読取り最大桁数を設定します。 1-7089
RSS	Min Length	1	読取り最小桁数を設定します。 1-80
	Max Length	80	読取り最大桁数を設定します。 1-80
UPC-A	Output Check Digit Character	有効	チェックキャラクターの出力を設定します。 [無効], [有効]
	Output System Character	有効	システムキャラクターの出力を設定します。 [無効], [有効]
	Addenda Separator	無効	バーコードデータとアドオン間のスペース出力有無を設定します。 [無効], [有効]
	2-Digit Addenda	無効	2桁アドオンの読取り有無を設定します。 [無効], [有効]
	5-Digit Addenda	無効	5桁アドオンの読取り有無を設定します。 [無効], [有効]
	Addenda Required	無効	アドオン有無による読取り可否を設定します。 [無効], [有効]
	Translate UPCA to EAN13	無効	EAN13 変換を設定します。 [無効], [有効]
UPC-E	Output Check Digit Character	有効	チェックキャラクターの出力を設定します。 [無効], [有効]
	Output System Character	有効	システムキャラクターの出力を設定します。 [無効], [有効]
	Addenda Separator	無効	バーコードデータとアドオン間のスペース出力有無を設定します。 [無効], [有効]
	2-Digit Addenda	無効	2桁アドオンの読取り有無を設定します。 [無効], [有効]
	5-Digit Addenda	無効	5桁アドオンの読取り有無を設定します。

			[無効],[有効]
	Adenda Required	無効	アドオン有無による読取り可否を設定 します。 [無効],[有効]

4. アプリケーション制御

4.1 インテント一覧

ET-L10 に搭載しているバーコードスキャナーの機能のうち以下の機能はアプリケーションから制御可能です。制御するには下記のインテントを発行してください。

機能	アクション名
Scan Setting の起動	"android.intent.action.LAUNCH_SCANSETTING"
バーコードスキャナーのオープン/クローズ	"android.intent.action.BARCODESCAN"
バーコードスキャナー設定の初期化	"android.intent.action.DEFAULT"
通知 LED の制御	"android.intent.action.LIGHT"
通知バイブレーターの制御	"android.intent.action.VIBRATE"
通知音の制御	"android.intent.action.BEEP"
	"android.intent.action.FAILUREBEEP"
読取りバーコードの制御	"android.intent.action.ENABLESYMBOLOGIES"
出力方式の制御	"android.intent.action.BARCODEOUTPUT"
終端子(Terminator)の制御	"android.intent.action.TERMINATOR"
トリガーキーの有効/無効制御	"android.intent.action.SCANBYTRIGGERKEY"
	"android.intent.action.NOTSCANBYTRIGGERKEY"
トリガーキーのタイムアウト制御	"android.intent.action.TIMEOUT"
トリガーキーのソフトウェア制御	"android.intent.action.BARCODESTARTSCAN"
	"android.intent.action.BARCODESTOPSCAN"

4.2 機能詳細

4.2.1 Scan Setting の起動

Scan Setting(バーコードスキャナー設定変更ツール)を起動します。

action	"android.intent.action.LAUNCH_SCANSETTING"
--------	--

4.2.2 バーコードスキャナーのオープン/クローズ

バーコードスキャナーをオープン/クローズします。

バーコードスキャナーを使用する際はオープン、使用しない際はクローズしてください。

オープンしていない状態でバーコードスキャナーの設定を変更すると正しく動作しないことがあります。

action	"android.intent.action.BARCODESCAN"
extra key	action と同じ
extra value	boolean true : バーコードスキャナーをオープンします。 false : バーコードスキャナーをクローズします。

4.2.3 バーコードスキャナー設定の初期化

全てのバーコードスキャナー設定をデフォルトに戻します。

action	"android.intent.action.DEFAULT"
--------	---------------------------------

4.2.4 通知 LED の制御

通知 LED の動作を制御します。

有効を設定した場合は読取り成功時に通知 LED が青点灯、トリガーキー押下中に赤点灯します。(デフォルト)

無効を設定した場合は通知 LED が点灯しません。

action	"android.intent.action.LIGHT"
extra key	action と同じ
extra value	boolean true : 通知 LED 有効 false : 通知 LED 無効

4.2.5 通知バイブレーターの制御

通知バイブレーターの動作を制御します。

有効を設定した場合は読取り成功時にバイブレーターが振動します。

無効を設定した場合は読取り成功時にバイブレーターが振動しません。(デフォルト)

action	"android.intent.action.VIBRATE"
extra key	action と同じ
extra value	boolean true : 通知バイブレーター有効 false : 通知バイブレーター無効

4.2.6 通知音の制御

通知音の動作を読取り結果に応じて制御します。

有効を設定した場合は読取り成功時に通知音が鳴ります。(デフォルト)

無効を設定した場合は読取り成功時に通知音が鳴りません。

action	"android.intent.action.BEEP"
extra key	action と同じ
extra value	boolean true : 読取り成功時の通知音有効 false : 読取り成功時の通知音無効

有効を設定した場合は読取り失敗時に通知音が鳴ります。

無効を設定した場合は読取り失敗時に通知音が鳴りません。(デフォルト)

action	"android.intent.action.FAILUREBEEP"
extra key	action と同じ
extra value	boolean true : 読取り失敗時の通知音有効 false : 読取り失敗時の通知音無効

4.2.7 読取りバーコードの制御

指定したバーコードの読取り有効/無効を設定します。

action	"android.intent.action.ENABLESYMBOLOGIES"
extra key1	"symbolologies"
extra value1	int 0 : Aztec 1 : Codabar 3 : Code128 4 : Code39 6 : Code93 7 : Composite 8 : DataMatrix 9 : EAN8 10 : EAN13 11 : Interleaved 2 of 5(ITF) 12 : Maxicode 13 : Micro PDF 15 : PDF417 17 : QR code 18 : GS1 DataBar 19 : UPC-A 20 : UPC-E0 21 : UPC-E1 31 : MSI 47 : GS1 128 48 : Han Xin 99 : All barcode
extra key2	"enable"
extra value2	boolean true : 読取り有効 false : 読取り無効

4.2.8 出力方式の制御

読取り結果の出力方式を制御します。

「**EditBox**に出力」を指定するとフォーカスが合っているエディットボックスに読取り結果を出力します。

(デフォルト)

「**ブロードキャスト**」を指定すると読取り結果がブロードキャストされます。受け取るためのインテントフィルターは下表を参照してください。

「**キーボード出力**」を指定すると読取り結果がキーイベントとして出力されます。

「**クリップボード出力**」を指定すると読取り結果をクリップボードに格納します。

action	"android.intent.action.BARCODEOUTPUT"
extra key1	アクション名と同じ
extra value1	int 0 : EditBox に出力 1 : ブロードキャスト 2 : キーボード出力 3 : クリップボード出力

受信用インテントフィルター

action	"android.intent.action.SCANRESULT"
extra key1	"value"
extra value1	String 読取り結果
extra key2	"bytedata"
extra value2	byte[] 読取り結果(byte 表示)
extra key3	"length"
extra value3	int バーコード長さ
extra key4	"type"
extra value4	int バーコード ID 122 : Aztec 97 : Codabar 106 : Code128 98 : Code39 105 : Code93 119 : DataMatrix 68 : EAN8 100 : EAN13 101 : Interleaved 2 of 5(ITF) 120 : Maxicode 82 : Micro PDF 114 : PDF417 115 : QR code 121 : GS1 DataBar 123 : GS1 DataBar Limited 125 : GS1 DataBar Expanded 99 : UPC-A 69 : UPC-E0 69 : UPC-E1 103 : MSI 73 : GS1 128

	72 : Han Xin Composite コードを読取った場合に取得される ID は下段に配置されている 1D バーコードに依存します。
extra key5	"decodetime"
extra value5	int 読取り時間(ミリ秒)

4.2.9 終端子(Terminator)の制御

読取り結果の末尾に付加する終端子(Terminator)を設定します。

出力方式に「EditBox に出力」や「キーボードイベント」を指定時に終端子を設定することで改行等の動作を付与することができます。

デフォルトは Enter です。

action	"android.intent.action.TERMINATOR"
extra key1	アクション名と同じ
extra value1	int 0 : なし 1 : Enter 2 : TAB 3 : LF

4.2.10 トリガーキーの有効/無効制御

トリガーキーの有効/無効を制御します。

バーコードスキャナーの使用を高速で切り替えたい場合は、バーコードスキャナーのオープン/クローズではなくトリガーキーの有効/無効を切り替えることを推奨します。

[有効にしたい場合]

action	"android.intent.action.SCANBYTRIGGERKEY"
--------	--

[無効にしたい場合]

action	"android.intent.action.NOTSCANBYTRIGGERKEY"
--------	---

4.2.11 トリガーキーのタイムアウト制御

トリガーキーのタイムアウトを制御します。

秒単位で値を指定してください。設定可能な範囲は 1～10 秒、デフォルトは 10 秒です。

action	"android.intent.action.TIMEOUT"
extra key1	アクション名と同じ
extra value1	int 1～10 の範囲

4.2.12 トリガーキーのソフトウェア制御

トリガーキーの動作をソフトウェア制御します。

[トリガーキーの押下を擬似的に発生させる場合]

action	"android.intent.action.BARCODESTARTSCAN"
--------	--

[トリガーキーの押下を擬似的に解除させる場合]

action	"android.intent.action.BARCODESTOPSCAN"
--------	---

4.3 アプリケーション開発

本Intentを使用したアプリケーション開発方法を説明します。

4.3.1 アプリケーションに必要な権限

本Intentを使用するために必要な **Android** のパーミッションはありません。

4.3.2 API レベル

本Intentを使用するための **API** レベルに制限はありません。最小 **API** レベルと対象 **API** レベルはアプリケーション作成者が **OS** や使用する関数にあわせて適切なレベルを設定してください。

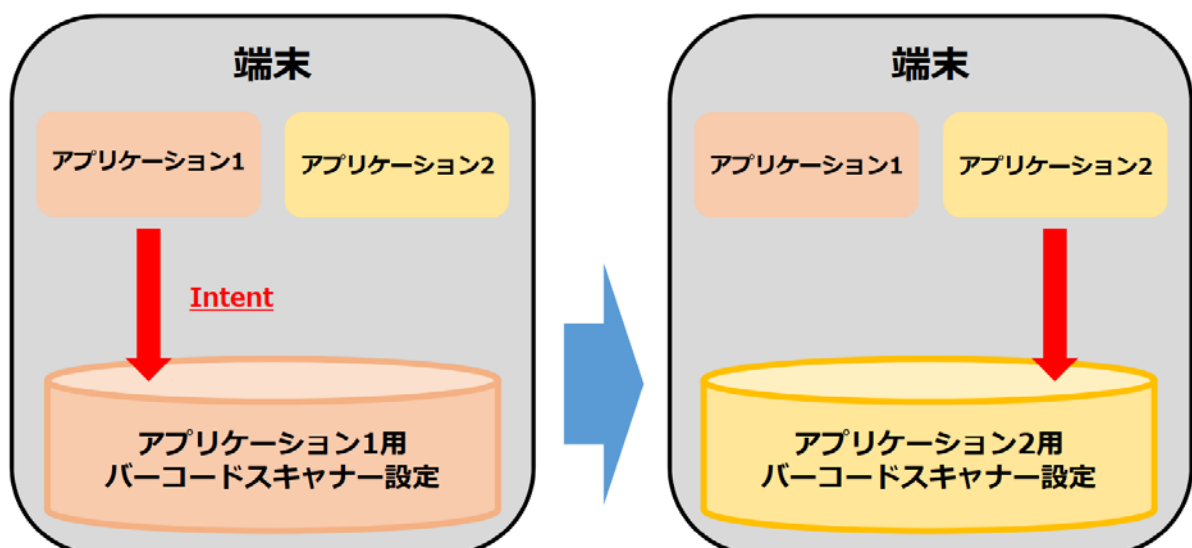
4.3.3 Intentフィルター

バーコードスキャナーの出力方式に「ブロードキャスト」を指定した場合はIntentフィルターを作成し読取り結果を取得してください。Intentフィルターの詳細は「4.2.8 出力方式の制御 (p.21)」を参照してください。

4.3.4 複数アプリからの制御

複数のアプリケーションからバーコードスキャナーの設定を変更した場合、最後に設定した内容が反映されます。

例えば、アプリケーション1がバーコードスキャナーの設定を変更した後にアプリケーション2がさらに設定変更した場合、バーコードスキャナーの設定はアプリケーション2が設定した内容が反映されます。



4.3.5 使用例

Android における標準的な_intent発行方法を記載します。

```
public static final String SCANNER_OPENCLOSE = "android.intent.action.BARCODESCAN";

public void openScanner() {
    Intent intent = new Intent(SCANNER_OPENCLOSE);
    intent.putExtra(SCANNER_OPENCLOSE, true);
    sendBroadcast(intent);
}
```

4.3.6 注意事項

アプリケーション開発の際は「**4.2 機能詳細 (p.18)**」を参照し正しいパラメーターを設定してください。
不正なパラメーターを設定した際の動作は保証されません。

_intentの性質上、_intentを発行したアプリケーションは_intentが成功したこと(バーコードスキャナーの設定変更が完了したこと)を検知できません。アプリケーション開発の際はタイミングを含めて動作確認をおこなってください。

カシオ計算機お問い合わせ窓口

●製品サポートサイト

<https://casio.jp/support/ht/>

カシオ計算機株式会社

〒151-8543 東京都渋谷区本町 1-6-2

TEL 03-5334-4638(代)